

Energize

私たちはお客様の**“元気”**をサポートします！

成長の軸足...！

私どもTEAMyoko-soのコーポレートメッセージは「変わらないは、つまらない。」です。

これは「環境対応業」とも言われる経営者をサポートしていくためには、私たち自身が「成長とは変化することである」という言葉の通り、主体的に変化をリードする覚悟を持って仕事に向き合わなければならないという覚悟を表したものです。

人は基本的に「変化」を嫌います。ほとんどの人が慣れ親しんだやり方や手法を、明日も繰り返すことに安心感を覚えます。慣れたことを変えるには勇気が必要です。そこが、変化し成長していく人と、なかなか変化できず成長できない人の差なのだと思います。

私ども事務所の中を見回しても、自分の壁にぶつかるごとに、変化し自分のやり方を変えてその壁を乗り越え、一回りずつ成長していく人と... 何度、壁にぶつかっても、結局、何も変えられないまま成長できない人がいますが... でも、その違いの根っ子は、意外と単純です。

変化と言っても、自分の「価値観」を変えなければならないような大きな変化は、人生のうちにそう何度もありません。価値観を変化させるということは、自分の生きる目的を変えることにつながるほどの変化だからです。ほとんどの変化は自分の慣れ親しんだ「やり方（手段）」を変える変化なのです。

言い方を変えると、「やり方」を変えられるか否かは、その人の「目的」への意識の強さに比例します。

目的が明確であるからこそ、そこに辿り着くために自分の「手段」を変化させられるのです。目的の明確化が、手段・手法に拘らず、目的に拘り、自分が変化し成長していくための根っ子なのです。

逆に、目的意識が希薄な人は、自分の慣れ親しんだ、やり方に拘ります。何のために今の手段・手法を選択しているのか？それがベストの方法なのか？を思考することがありません。

.....

★ 五輪2大会連続女子マラソンでメダルを獲得した有森裕子さんのインタビュー記事より

下積み期間が長かったという有森さんが、どのようにして五輪でメダルを獲得するまで自分を高めたかと尋ねると、その鍵は「自分を変えること」だという。

「自分を変えて何かに合わせることは難しいと感じるかもしれませんが、根本を変える必要はないんです」。目標や絶対にやり遂げたいことがあるなら、それを達成するために何が一番効果的か、どうすれば早くたどり着けるかを考えてみる。ゴールを目指して不要なことをそぎ落とすと、導き出される答えは意外にシンプルだという。

この有森さんのお話の中に、成功するための原理原則があると思います。一番大切なのは、「目標や絶対にやり遂げたいこと」が明確なことです。このことにより、「目的」と「手段」の区別が明確になります。

.....

目的は一つでも、そこに到達する手段は無限です。手段は環境変化により常に変化させるべきなのです。

つまり、変化し、成長するためには、絶対に変化しない思考の軸足（目的・理念）が必要なのです。絶対に変化しないものを持たない者は、慣れ親しんだ手段の中にしか自分の安住の地を見出すことができません。それが企業経営に「経営理念、ミッション」が必要な最大の理由なのです。

ミッションが明確な企業は変化・成長し、ミッションが不明確な企業は手段に固執するのです。

◆個人型確定拠出年金(個人型DC)の加入対象者が拡大されます

平成29年1月より、個人型DCの加入範囲が拡大され、これまでの加入対象者に加えて、企業年金加入者・公務員等共済加入者・私学共済加入者・第3号被保険者(専業主婦等)についても、基本的に個人型DCへ加入することが出来るようになります。

●個人型DCのメリット

⇒ 掛け金が**全額所得控除(小規模企業共済等掛金控除)**されます。

⇒ **運用益も非課税**で再投資されます。

⇒ 受け取るときも**税制優遇措置**があります。

◇ 老齢給付金 年金→雑所得(公的年金等控除あり) 一時金→退職所得(退職所得控除あり)

◇ 障害給付金 非課税

◇ 死亡一時金 みなし相続財産として相続税がかかります

●個人型DCのデメリット

⇒ 原則60歳までは解約(現金化)できません。

⇒ 利用には口座管理手数料などががかかります。

⇒ 運用は加入者ご自身が行います。

●個人型DCの加入範囲および拠出限度額

個人型DCは、基礎年金(1階部分)、厚生年金保険(2階部分)などの公的年金に上乗せして給付を受け取る私的年金(3階部分)の1つです。※青色の欄が平成29年1月から新たに加入できるようになる部分です。

自営業者等	専業主婦等	企業年金等に加入していない方	企業年金等に加入している方や公務員・私学共済加入者の方
拠出限度額 年額 81.6 万円 (月額 6.8 万円)	拠出限度額 年額 27.6 万円 (月額 2.3 万円)	拠出限度額 年額 27.6 万円 (月額 2.3 万円)	拠出限度額 年額 24.0 万円※2 または 年額 14.4 万円※3 (月額 2.0 万円) (月額 1.2 万円)
※国民年金基金との合算枠			
			企業年金等※1
			厚生年金保険(2階)
			基礎年金(1階)

※1 企業年金等とは企業型DC、確定給付企業年金等。企業型DCを実施している企業は、企業型DC規約で個人型DCへの加入を認めている場合のみ加入可能。

※2 企業年金等(※1)に加入している方のうち、「企業型DCにのみ加入している方」の額。

※3 企業年金等(※1)に加入している方のうち、「企業型DCにのみ加入している方(※2)以外の方」の額。(公務員・私学共済加入者もこちらに含まれます)

●個人型DCの加入範囲および拠出限度額

個人型DCを始めるにあたっては、運営管理機関(銀行・証券会社・保険会社等)に申し込みをする必要があります。各運営管理機関によって運用商品の取扱数・手数料が異なります。

ご不明な点がございましたら担当者までご相談ください。

6年前のブログの記事ですが... 折れない自信を持つということは、永遠のテーマなんでしょうね。

【旧経営者へのメッセージ 2010.06.23ブログより】

★ 自信の源

人を育てようとした時に、最初に越えなければならないハードルが「自信」を持たせることかもしれません。それは、後継者の場合でも、職場の人財を育てる場合でも、自分の子供を育てる場合でも、同じです。

人は自信がないと、脚がすくんで動けなくなります。

何をすべきなのか?... と悩むばかりで行動できなくなります。

周りの空気に合わせて、不安を紛らわすための作業に逃げ込みます。

その繰り返しの中でド壺にはまり、自分で自分を追い込んでいきます。

ただ、自信は、毎日の同じことの繰り返しの中からは生まれません。自信は、行動して、自分の壁を超えて進むプロセスの中から生まれます。自信がないから挑戦しないのではなく、自信を創り出すために挑戦するのです。なのに... 自信がないと脚がすくみ、行動できないのです。

では、「自信」って何でしょう？

自信とは「自分を信じる」と書きます。

言い換えれば「自分を信じる力（思い込みの力）」という意味なのかもしれません。

では、自分の何を信じるのか?... 知識？経験？人柄？学歴？家柄？体力？何...？

自分自身のことを振り返ってみると...

何かに挑戦しようとした時に、挑戦する前から自信のあったことは一度もありません

それ以前に「自信があるか・ないか」ということを考えたことがありません

「自信のある・なし」でなく、「それに挑戦する必要がある」という思いから行動したのだと思います。

では、自分の何を信じていたのか？と考えてみると...

それは、自分自身ではなく、自分の「目指しているものの価値」を信じていたのだと思います。

何かに挑戦しようとする時には、必ず「何のために」という目的があります。

その「目的の価値」の大きさが、それを成し遂げることへの「覚悟」を創りだします。

そして、「価値ある目的」は、価値ある出会いを生み、価値ある知識や能力を呼び寄せるのです。

覚悟を決めてやり続けるプロセスの中で、次第に自信は創られて行きます。

そして、振り返ったときに、それを乗り越えて来た自分の「可能性」を信じる事が出来るのです。

人を育てる根っ子は、その人の「価値ある目的」に気づかせることなのかも知れません。

そして、「価値ある目的」とは、「その人の価値」であり、「自分を知る」ことにほかなりません。

「自信」とは、“覚悟”から導かれる“成果”である」という言葉が胸に沁みます。

★ 円、なぜ「安全通貨」か

6月23日実施のイギリスの国民投票でEUからの離脱が決まりました。その際に円相場が急上昇しました。成長力低下が指摘される日本の通貨が、なぜマネーの「逃避先」になるのでしょうか。

今月は投資家の間で不安心理が広がると日本の円が買われるマーケットの奇妙な力学の裏側をレポートします。

● 市場心理の悪化=円高

円が急騰したのは、イギリス国民投票の結果が判明した6月24日の外国為替市場。主要通貨に対して軒並み円が買われました。イギリスと大陸が分断され、反地域統合の動きは世界に拡大。グローバル経済に負のインパクトを及ぼす。そんな暗い未来を思い描き不安心理に駆られた投資家が、マネーを一気に円に移したと思われます。

市場心理の悪化が円高を招く光景はこれまでも見られました。2008年9月のリーマン・ショックのときなどで、現在では「安全通貨」がマーケットでの通称となっています。

一方で、日本経済は労働人口の減少や設備の老朽化といった構造問題を抱えており、デフレに苦しみ、財政赤字も巨額です。日本経済の実力を示す潜在経済成長率はわずか0.2%程度に低下し、2%程度といわれるアメリカ経済との差は大きく開いています。なのに、なぜ円は「安全」なのでしょう？

● デフレで円高に

重要なのは国力と為替相場の関係が希薄とされる点です。経済が混乱すると通貨が売られるケースもありますが、逆に成長力が弱い国の通貨が強くなることもあり得ます。

ここでは2つのポイントを考えてみましょう。まず物価と為替相場の関係です。モノやサービスの価格が持続的に下がるデフレのもとでは、通貨の価値（購買力）は逆に上がります。より少ないお金でモノやサービスを買えるようになるからです。そして、一般的に購買力が上がる通貨を持つ方が得だから、為替相場も上がりやすいのです。つまり、「デフレ通貨だからこそ円が逃避先になる」という面があります。

次に金利と為替相場の関係をみてみましょう。日本のように成長力が弱い国の金利は一般的に低くなります。経済を刺激するために中央銀行が思い切って金融を緩和するためです。日銀がゼロ金利政策を導入したのは今から17年も前の話です。以降、ゼロ金利を解除する局面が2度あったものの、再び超低金利状態に戻って現在に至っています。今やマイナス金利政策のもとで長期金利（10年物国債金利）は-0.2%台で、当然ながら、アメリカやドイツを下回っています。

● 「キャリー」の影響

超低金利通貨は売られやすいというのが普通の理解です。金利の魅力が低いからです。実際に投資家がリスクをとることに積極的になる面では、投機筋の間で超低金利通貨の円を借りて、金利は高いが相場変動リスクも大きい通貨を買うキャリー取引が活発になり易いと考えられます。低い金利の通貨が売られる典型です。

しかし、市場の混乱時には超低金利通貨の方が買われやすくなります。不安になった投機筋がキャリー取引を一気に手じまうからです。その過程で大幅に円が買い戻されるので円が急騰するのです。



（株）横浜総合フィナンシャルの西尾です！

日本の世界最大規模の対外純資産（企業、政府、個人などが海外に持つ資産残高から負債残額を引いた値）が15年末で約339兆円を超える点も、円が「逃避先」になり易い理由です。経済ショック時に日本人が海外に持つ外貨建て資産を売って引き揚げるとの思惑が広がるからです。

今月の一言…“良薬は口に苦し”

他人の記録を塗り替えるには7割、8割の力でも可能だが、
自分の記録を塗り替えるには10以上の力が必要だ。
(イチロー)

スポーツでも、経営でも、すべての闘いは「自分との戦い」ですね！ 今話題のイチローの3千本安打も、周囲は記録として騒ぎ立てていますが、イチローにとっては純粋な自分の限界との戦いなのでしょうね。他人との比較は人生にとって無意味なのかもしれません。

★本や講演やお客様のお話の中から、「これは自分の生き方に取り入れよう」と感じたことをノートに書きとめています。そのノートの中から一言… (v o l . 9 9)

- ★ 先月は出張で京都に行って参りました。仕事が終わった後に大好きな大徳寺大仙院に尾崎宗園和尚に会いに伺いました。毎年、お言葉を書いていただくのですが、今年は「日々是好日」でした。この語を文字通り解釈すると「毎日が平安で無事である」ですが、和尚は「好日は待ってえられるものではなく、願ってもえられないものではない。自らの生き方に日々の好日を見出しえなければなりません。」とお言葉でした。まさに横総クレドの「Choice theory」です。未来は今の自分の選択により創られます！ (NISHIO)
- ★ マイナンバーとFintechの先進国であるエストニアに視察に行ってきました。エストニアは自国に産業がないこともありマイナンバーのシステム自体を輸出している程で、役所、病院、図書館、その他に選挙やパーキングチケットにいたるまで！結婚と離婚、土地の購入以外はすべての手続きがオンラインで可能で、それを下支える法整備など勉強になりました。日本がこのようになるかどうかは別としても、先進国を見たことは大きな財産です。中小企業の業務効率化に積極的に取り組んでいきたいと思います。 (YAMAMOTO)
- ★ 7月からメンバーが2名増員し、4名体制で新生MASチームが動き始めています。早速、新人がMAS監査契約を受託、中堅メンバーが増額契約をいただくなど嬉しい報告があがっています！また他部署のメンバーからの、計画立案の相談依頼も着実に増加しており、下半期勢いのある出だしとなりました。4人のメンバーで考えた、中期ビジョン『横浜圧倒的NO.1のビジョン実現支援企業』を目指し、お客様の『笑顔』を生み出せるよう、これからTEAM全員でMAS増す、精進していきたいと思います！ (TOCHIKURA)
- ★ 先月の利尻島に続いて今月は家内と沖縄に行ってきました。10月には結婚当初から家内が行きたがっていたハワイに行く予定です。昨年のマナスルが事務所移転のスケジュールが押して最後のアタックに参加できなかったこと、6月に予定していたアルバマヨが株主総会で行けなくなったことも考えると、やはりトップを引退して仕事の心配がなくならないと長期の遠征は難しいようです。．．．そんなこともあり、今年は癌の発病から15年目になる家内への感謝サービスに徹して、点を稼いでおいて、来年は思い切って目標の山を目指そうかと思います（これも中期経営計画です（笑））。人生は戦略的に生きないと、ね。 (IZUMI)



TEAM 横浜総合事務所

税理士法人横浜総合事務所

株式会社横浜総合マネジメント／株式会社横浜総合フィナンシャル／株式会社横浜総合エクスペリエンス

< 横浜総合ASP推進センター / 横浜総合M&Aセンター >

セミナーのご案内

※関与先値引き有り

★ “将軍の日” 中期経営計画作成セミナー

自社の5年後のあるべき姿と、そのための経営課題を明確にするための一日！

日時：平成28年8月16日(火)／10時～18時

場所：横浜総合事務所セミナールーム

募集：5社限定 料金一社 32,400円

昼食代込（お二人迄参加可）

★ “未来創造塾” 毎月開催、経営者セミナー <※※※会員募集中※※※>

第67回「中小企業における中堅・幹部社員の育成方法」

講師：株式会社 採用工房 取締役 武田 和志

日時：平成28年8月18日(木)／16時～18時、終了後実費にて懇親会

場所：横浜総合事務所セミナールーム

募集：都度参加会費 5,000円

★ “後継者育成塾” 4期生募集中

創業者の志を継承する「人財」を育成します！

主催：NN構想首都圏地域会LLP

日時：平成27年5月15日(金)～平成29年3月4日(土)

場所：日帰り／(株)日本BIGネットワークセミナールーム(東京駅八重洲口徒歩4分)

泊まり／湘南国際村センター セミナールーム(逗子駅よりバス20分)

募集：全12日間(内3回1泊2日) 90万円(税抜き)

ネットワーク

日本大通り法律事務所、小越司法書士・行政書士事務所、小俣不動産鑑定士事務所

(株)人財経営センター、(株)日本M&Aセンター、(株)日本エスクロー信託

(株)事業パートナー、(株)FPG、(株)経営改善支援センター、一般社団法人日本フードアドバイザー協会

(株)パワーズアンリミテッド、NMC 税理士法人税務総合対策室、税理士法人東京クロスボーダーズ

(株)日本エスクロー信託、ベンチャー支援機構MINERVA(支援会員) 他

〒231-0023 横浜市中区山下町 209 帝蚕閣内ビル 10F

TEAM 横浜総合事務所 / TEL045(641)2505、FAX045(641)2506

ホームページ <http://www.yoko-so.co.jp/>

「経営者へのメッセージ」「癒しの森暮らし」のブログにもつながります